

関係者各位

令和2年2月23日

ミッドリーム日本語学校

校長 山田 貴彦

新型コロナウイルスにともなうお知らせ

各種報道でご存知のように、12月以降新型コロナウイルス感染症の発生が報告されて以来、日本をはじめとして世界各地から報告が続いています。都内でも集団発生や感染経路の不明な患者報告がありました。このような状況下、本校でも中国からの入国者への休学措置や、校内でのアルコール消毒の推奨などの対応策を打ってきました。

現在国内での発症者はわずかではありますが、今後感染拡大する恐れが十分にあると判断し、本校では理事長・校長を座長とする協議や検討を継続的に行っております。

具体的には、3月に授業を継続して行うかどうかということを確認・検討をしており、一時的な休校も視野に入れております。休校の可否に関して、日本語教育振興協会を通じて出入国在留管理庁に問い合わせをしており、その回答待ちとなっております。

在校生と教職員の皆様には、2/25(火)～2/27(木)の間に3月の学校運営方針をお知らせする予定で調整を行っておりますので、その連絡をお待ちいただきたいと思います。

新型コロナウイルスの流行の終息が見えない状況下ではありますが、今後の喫緊の検討及び判断ではご理解ご協力頂きたいお願い申し上げます。

以上